

# 令和4年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部  
畜産試験場

## I 気象概況

9月下旬：平均気温は15.2℃（平年差+1.1℃）で平年よりやや高かった。降水量は66.0mm（平年比183%）で平年よりやや多かった。日照時間は60.9時間（平年比122%）で平年よりやや多かった。

10月上旬：平均気温は11.3℃（平年差-1.1℃）で平年よりやや低かった。降水量は115.5mm（平年比256%）で平年よりかなり多かった。日照時間は33.6時間（平年比69%）で平年よりかなり少なかった。

10月中旬：平均気温は11.4℃（平年差+2.4℃）で平年よりかなり高かった。降水量は6.0mm（平年比15%）で平年よりかなり少なかった。日照時間は59.5時間（平年比113%）で平年並であった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年よりやや高く、降水量はかなり多く、日照時間は平年並であった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	15.2	14.1	1.1	11.3	12.4	△1.1	11.4	9.0	2.4
最高気温（℃）	21.2	19.4	1.8	16.0	17.6	△1.6	16.0	14.0	2.0
最低気温（℃）	9.5	9.0	0.5	6.5	7.3	△0.8	6.2	3.9	2.3
降水量（mm）	66.0	36.1	29.9	115.5	45.1	70.4	6.0	40.7	△34.7
降水日数（日）	2.0	3.9	△1.9	6.0	4.8	1.2	3.0	4.1	△1.1
日照時間（時間）	60.9	49.9	11.0	33.6	48.6	△15.0	59.5	52.8	6.7

注1) 各数値は旬の平均または合計。△は減を示す。

注2) 平年値は前10か年の平均値。

## Ⅱ 作 況

### 1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : 良

1～3 番草通算作況 : 良

事 由 :

<3 番草>

3 番草の刈取りは平年より2日遅い10月12日に行った。草丈は、2年目草地で平年並、3年目草地で平年よりやや高かった。乾物収量の平年比は2年目草地で122%、3年目草地で187%、両草地の平均では149%であった。

以上のことから、3番草の作況は「良」である。

<1～3 番草合計>

1～3 番草合計の乾物収量は、2年目草地で1,199.6kg/10a（平年比114%）、3年目草地で1,013.9kg/10a（平年比109%）、両草地の平均では1,106.8kg/10a（平年比112%）であった。

以上のことから、1～3 番草合計の作況は「良」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月. 日)	10.12	10.10	2	10.12	10.10	2
生育日数 (日)	70	67	3	70	68	2
収穫時草丈 (cm)	51	47	4	51	40	11
生草収量 (kg/10a)	801	662	139	769	452	317
乾物率 (%)	22.7	23.1	△ 0.4	25.5	25.2	0.3
乾物収量 (kg/10a)	180.3	147.3	33.0	196.1	105.0	91.1
同上平年比 (%)	122	100	22	187	100	87
1～3番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	1,199.6	1,050.4	149.2	1,013.9	929.3	84.6
同上平年比 (%)	114	100	14	109	100	9

注 1) 平年値は2年目草地が前7カ年のうち最豊年(平成27年)及び最凶年(令和1年)を除く5カ年の平均値、3年目草地は前7カ年のうち最豊年(令和2年)及び最凶年(平成29年)を除く5カ年の平均値。

2) △は減または早を示す。

## 2. サイレージ用とうもろこし

作 況：やや不良

事 由：

播種は平年より3日遅い5月18日、発芽期は平年と同日の5月27日であった。初期生育は平年より大きく下回り不良だったが、7月には平年比93%まで回復した。絹糸抽出期は平年より2日遅い8月1日、雄穂開花期はこれよりさらに遅い8月3日で平年より3日遅かった。8月の稈長は248cmで、ほぼ平年値に等しかった。収穫期は平年より4日早い9月15日となり、収穫時の熟度は黄熟初期であった。生草収量は、雌穂は平年値よりやや少なかったが、総体では平年並みだった。登熟が進まず、総体乾物率は平年より2.8ポイント低く、最終的に、雌穂および総体の乾物収量、並びに推定TDN収量は、対平年値比でそれぞれ91、92、92%であった。

以上のことから、本年の作況は「やや不良」である。

調査項目	本年	平年	比較	平年比(%)	
播種期(月.日)	5.18	5.15	3	—	
発芽期(月.日)	5.27	5.27	0	—	
草丈(cm)	6月20日	22	41	△19	—
	7月20日	153	165	△12	—
稈長(cm)	8月20日	248	249	△1	—
	6月20日	5.3	7.1	△1.8	—
葉数(枚)	7月20日	14.5	14.1	0.4	—
	8月20日	16.2	15.9	0.3	—
雄穂開花期(月.日)	8.3	7.31	3	—	
絹糸抽出期(月.日)	8.1	7.30	2	—	
収穫期(月.日)	9.15	9.19	△4	—	
収穫時熟度	黄初	黄初-黄中	—	—	
総体生草収量(kg/10a)	5,174	5,111	63	101	
総体乾物収量(kg/10a)	1,367	1,490	△123	92	
雌穂乾物収量(kg/10a)	738	815	△77	91	
乾雌穂重割合(%)	54.0	54.8	△0.8	—	
総体乾物率(%)	26.4	29.2	△2.8	—	
推定TDN収量(kg/10a)	993	1,085	△92	92	

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(平成29年)と最凶年(平成28年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「チベリウス」。